

令和3年度 教育に関する事務の管理
及び執行の状況の点検・評価報告書

令和4年10月

東栄町教育委員会

はじめに

東栄町教育委員会では、「第6次東栄町総合計画 山のめぐみをうけ ともに築く彩りの里」の「豊かな文化と心を育むまちづくり」を施策の基本目標とし、併せて教育大綱に基づいた着実な事業の推進に努めているところです。これらの政策目標の達成に向けて、毎年度、施策評価を行い、翌年度以降の取組に生かすとともに、その内容を地方教育行政の組織及び運営に関する法律による「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等の報告書」として位置づけて公表します。

令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価・・・3～14

基本施策 1	学校教育	3
1-1	一人ひとりに応じたきめ細かな教育の推進	
1-2	知・徳・体が調和した教育の推進	
1-3	連携教育の推進	
1-4	食育活動の推進	
1-5	小中学校の施設・設備の充実	
1-6	高校への就学支援	
基本施策 2	家庭・地域による連携教育	8
2-1	家庭教育への支援	
2-2	子どもの居場所づくり	
基本施策 3	生涯学習・生涯スポーツ	10
3-1	生涯学習の充実	
3-2	スポーツ活動の充実	
3-3	総合社会教育文化施設の充実と利用促進	
基本施策 4	文化の保存と継承	12
4-1	伝統文化の継承	
4-2	文化財の保存・継承環境づくり	
基本施策 5	多様な学びの場	14
5-1	人権尊重の推進	
5-2	国際交流を通じた多様性への理解	

主要事業の実施、成果状況・・・15～48

1	教育総務費	16
2	小学校費	21
3	中学校費	24
4	保健体育費	30
5	社会教育費	32

6	総合社会教育文化施設費	38
7	森林体験交流施設費	48

基本目標 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 1 学校教育

第6次総合計画（後期計画 令和3～7年度）	
現状と課題	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の児童・生徒数は、多少の増減はありますが、おおむね横ばいで推移しています。 ・学習指導の充実や教職員の質の向上を図るとともに、学校、保護者、地域等と連携した教育が望まれます。 ・保育園統合によって保育園1園、小学校1校、中学校1校となったことから、それぞれの保育・教育の指針や目標に整合性を持たせて一貫した理念の下で育てる体制が整いました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育施設や設備の更新をしていくための財源確保が大きな課題となっています。 ・町内には高校がなく、町外高校への就学を余儀なくされており、都会と比べ、保護者の経済的負担が大きくなっています。
施策がめざす将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの良さや可能性を伸ばす教育がされています。 ・時代を見据えた教育内容、教育方法等により多様な学習活動が実施されています。 ・保育園、小学校、中学校の連携が一層進み、とぎれのない保育・教育が行われています。 ・希望に応じて高等教育が受けられる環境が整っています。
個別施策	<p>1. 一人ひとりに応じたきめ細かな教育の推進</p> <p>小規模校としての特性を生かし、一人ひとりに応じた学習指導を行い、基礎学力の向上を図ります。</p> <p>支援が必要となる児童や生徒に対して、特別支援教育の支援員を配置するなど、きめ細かな教育を行います。</p> <p>いじめ問題や不登校等の子どもに適切に対応するため、児童・生徒の心に寄り添う相談体制の維持を図ります。</p> <p>2. 知・徳・体が調和した教育の推進</p> <p>基礎学力の向上をはじめ、道徳教育、国際理解教育、環境教育、情報教育、食育、職業体験など、各種教育に力を入れ、知・徳・体のバランスのとれた教育を行います。</p> <p>ふるさと東栄を学び、ふるさと東栄を愛する天地人教育を推進します。</p> <p>小・中学校へALTを派遣して、英語教育の充実を図るとともに、中学生を海外に派遣してホームステイや交流体験を行うことで、言語や文化の違いを体験し、豊かな国際感覚の育成を図ります。</p> <p>3. 連携教育の推進</p> <p>小中学校が各1校であるため、教育目標やカリキュラムの共通している部分を協力して行います。また、教育の充実を図るため、保育園と小中学校における教育分野での連携について研究していきます。</p> <p>子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、学校と地域の連携・協働が今まで以上に重要視されていることから、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の設置を目指します。</p> <p>中高一貫教育を進めている田口高校との連携を密にしていきます。</p> <p>4. 食育活動の推進</p> <p>旬の地元農産物を学校給食に使用したり、郷土料理を献立に取り入れたりすることにより、児童生徒が地域の食文化に触れる機会を作ります。</p>

	<p>5. 小中学校の施設・設備の充実</p> <p>教育環境を整えるため、計画的に修繕、工事、備品購入等を行い、小中学校における施設や設備の充実を図ります。</p> <p>文部科学省が提唱しているGIGAスクール構想を推進するため、教育ICT環境を整え、その効果的な活用を図ります。令和2年度には、児童生徒に一人1台ずつタブレットが整備されました。今後も必要な財源を確保しながら更新し、他の地域と格差のない教育環境を維持します。</p> <p>6. 高校への就学支援</p> <p>高校への就学を支援するため、引き続き町営バスを運営します。特に、設楽町への乗り入れや、JR飯田線東栄駅との結節は通学に必要なことから、通学の利便性が確保できるような時刻設定にします。</p> <p>あわせて、通学費や授業料の一部を補助します。</p>
--	---

施策評価シート（基本施策1 学校教育）

個別施策	令和3年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
1-1 一人ひとりに応じたきめ細かな教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「保小中連携教育」を具体化するために、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の具体化について方策を協議している。 ・小中学校の校内現職研修を中心に、教員の指導力の向上を図った。また、教職員が日常的に児童生徒の情報を共有する場を設定し、実態把握に努めた。 ・児童生徒の状況に応じて教員やスクールカウンセラーによる相談や家庭訪問を行い、不登校やいじめ等の早期対応や防止を図った。 ・小学校ではアプリ「心の天気」を活用し、児童の毎日の実態把握を行った。 ・欠席した児童生徒に対し、タブレットを活用してオンラインでの朝礼や授業参加ができる環境を整えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士や教職員に「めざす子どもの姿」案の意識を高めることができた。園や学校の外部の方の関心が高まり参画できるような協議会の組織づくりが課題である。 ・授業研究を中心とする校内研修を行い、実態把握の力や指導力を高めた。いじめや不登校などの問題の早期発見と解消、個に応じた対応に成果があった。この体制を維持したい。 ・児童生徒の状況を把握し、方向性を明確にして対応できた。不登校の解決、いじめの正確な把握が課題である。 ・一人ひとりの毎朝の状況が把握でき、児童理解と個別指導に大きな効果があった。 ・コロナ関連での欠席の他、休みがちな児童生徒の状況が把握できた。やむを得ず欠席する場合にも、学校と児童生徒やその家庭を繋ぐ一つ的手段として定着した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県総合教育センターのコンサルテーション事業に取り組んだ。 ・小学校に通級学級を設置し、個に応じた学習を支援した。 ・小学校に支援員を配置し、個の特性に応じて学校生活と学習を支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の特別支援教育についての理解を深め、児童生徒への対応力が向上した。 ・児童の実態に応じた教科指導ができ、学習への興味を維持し、理解を進めることができた。 ・支援が必要な児童に個々に対応することで、活動への集中を持続したり理解を深めたりすることができた。
<p>1-2 知・徳・体が調和した教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標に示し、小中学校の教育活動全体を通して計画的に取り組んだ。 ・「保小中連携教育」を具体化するために、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の具体化について方策を協議している。 ・小中学校の校内現職研修を中心に、教員の教育観を高め指導力の向上を図った。東栄小学校は北設楽地方教育事務協議会委嘱の2年間の研究に取り組んだ。 ・総合的な学習の時間を工夫し、中学校では「共生タイム」で町に関わる追究学習に、小学校では「とぅえいたいむ」で地域についての学習に取り組んだ。 ・ALTを配置し小中学校の英語教育の質の向上を図った。 ・計画した中学生海外派遣事業がコロナ感染症の影響で実施できず、国内での宿泊を伴う語学研修とカナダの交流校とのオンライン 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を具体化し適切に指導した。全人的に子どもをとらえる視点を今後も重視したい。 ・「めざす子どもの姿」案を意識して保育・学校教育に取り組んでいる。地域の方が共有し、参画できる、実効性の高い組織づくりが必要である。 ・授業研究を中心とする校内研修を行い、教科指導・生徒指導をはじめとする各種の指導力を高めた。ICTの活用についてはさらに研修が必要である。 ・地域の多くの団体の協力があり、町について知ったり体験したりする活動を充実させることができた。中学生は明神祭の場で学習の成果を発表した。 ・話す力・聞く力が意識され、ネイティブの発音に触れてコミュニケーションへの意識が高まっている。 ・代替事業によって目的の一部が達成できた。渡航体験による成果には及ばないが、会話や交流への意欲を高め、技能の向上と達成感を感じさせることができた。

	<p>交流で目的の達成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策や熱中症対策のため、児童生徒の総合的な運動量が少なくなった。 ・コロナ感染症対策のため、児童生徒の学習活動が制限された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体位や体力の状況については全国的な実態を参考にしながら分析し、結果に応じて対応する必要がある。 ・未履修にならないよう、工夫して指導した。
1-3 連携教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「保小中連携教育」を具体化するために、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置について方策を協議している。 ・地域連携教育情報交換会を開催し、小中学校と地域の連携を推進した。 ・北設楽中高一貫教育に取り組み、サマーセミナーへの参加、数学・英語の交流授業、お仕事フェア、文化祭等の交流を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「めざす子どもの姿」案を意識して保育・学校教育に取り組んでいる。地域の方にも共有していただき、地域の方が教育活動に参画できるようにすること、学校の負担が増えないことに配慮した組織づくり必要である。 ・多くの団体が協力していただき、学校と地域との連携が進んだ。小中学校間の相互理解が活動の充実につながった。 ・高校生の学校生活や各種の取り組みを知り、進路選択の参考にできた。田口高校へは3名が進学した。
1-4 食育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の愛知を食べる学校給食の日をはじめ、様々な特色ある給食を工夫して提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食に対する関心が高まり、委員会活動の自主的な工夫の意欲も見られた。
1-5 小中学校の施設・設備の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生全員に1台ずつ貸与したタブレットを活用するために、必要なアプリを整備した。 ・臨時交付金（2年度繰り越し）を活用し、中学校に階段昇降機を設置した。 ・一般財源により、中学校入学者への夏用ポロシャツを配付した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクールの実現に向け活用を進めた。「心の天気」は児童理解に成果があった。積極的活用、自宅への持ち帰りを進めるため、設備やアプリを補完する必要がある。 ・校舎のバリアフリー化を進めることができた。 ・高温化が進み熱中症が危惧される中、安全かつ快適に学校生活を送る一助となった。

<p>1 - 6 高校への就学支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校への就学を支援するために、通学費用や授業料の一部補助を継続して行った。 ・高校生の通学の利便性を高める配慮もして、町営バスを運営した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学の費用や下宿代、授業料等を補助することによって、家庭の負担を軽減し、進路選択の幅を広げることができた。 ・すべての要望には対応できないが、通学に不便を来さないバス運営ができた。
---------------------------	---	--

基本施策 2 家庭・地域による連携教育

第6次総合計画（後期計画 令和3～7年度）	
現状と課題	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の枠を超えて花祭等の地域行事に参加する子どもおり、地域の貴重な担い手としての期待が大きくなっています。 ・スポーツや文化活動に関する習い事やサークル活動が多数あり、地域の大人から指導を受ける機会があります。 ・地域連携教育の推進によって、「子どもは町の宝」として社会全体で支え、育てる仕組みづくりに取り組んでいます。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の解散や家族観の多様化により、子ども達が直接的に地域との関わりを持てる場が減り、以前に比べると世代間や異年齢の子ども達との交流が減っています。
施策がめざす将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と地域が一体となり子どもの健全育成を推進できる体制ができています。
個別施策	<p>1. 家庭教育への支援</p> <p>働き方や家族のあり方が多様化する中でも、家庭は子どもたちが安心して心健やかに暮らしていける場であることが望まれます。子育ての仕方や、子どもを取り巻く社会は少しずつ変化していきます。また、子どもが成長していく段階によっても、必要な保護者の関わりは変化します。保護者がゆとりをもって子育てができるような情報提供や、必要に応じた相談体制等を整えます。</p> <p>2. 子どもの居場所づくり</p> <p>町でも近年、親や祖父母の就労等により一人で遊ぶ子どもが多く見られるようになりました。子どもは遊びを通じて仲間関係の形成や社会性の発達などを育んでいくことから、子どもが自主的に遊べ、安全に過ごす場所の確保が必要です。仲間と楽しく、安全に遊べる放課後児童クラブの活動を推進していきます。</p> <p>小学校の放課後や長期休暇等において、児童が安心して過ごせるようボランティアによる体験指導を行うなど、放課後児童クラブの内容の充実を図ります。</p> <p>あわせて、子どもと高齢者が、家族の垣根を越えてふれあい、また、子どもが高齢者から学ぶ機会を創出することで、地域一体となった子育てと郷土を愛する意識の醸成を図ります。</p>

施策評価シート（基本施策2 家庭・地域による連携教育）

個別施策	令和3年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
<p>2-1 家庭教育への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「保小中連携教育」を具体化するために、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の具体化について方策を協議している。 ・小中学校とも家庭との連絡を日常的に行い、必要な情報を交換した。 ・保護者会、学校保健委員会等の場で、発達段階や実情に応じた、家庭教育の方向性を示した。また、必要に応じて個別に懇談し、考えを共有した。 ・スクールカウンセラーを継続配置し、保護者の相談に対応できるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での指導の指針になる具体的な目標を学校・園・保護者・地域が共有するために、実効性の高い組織づくりが必要である。 ・メール、ホームページ、東栄チャンネルの活用など方法を工夫して、情報提供ができた。 ・現状の課題について情報発信ができた。また、個々の課題に対して共に考え、解決の方法を支援できた。どの保護者とも信頼関係をいっそう深めたい。 ・専門家を配置し必要に応じて相談を受けることができた。より活用しやすくしたい。
<p>2-2 子どもの居場所づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードや地域見守り隊活動を依頼し、登下校の安全を図った。 ・小中学校ともに総合的な学習の時間を中心に、地域を理解し地域を愛する心を育む学習を計画的に実施した。 ・地域連携教育情報交換会を実施し、小中学校と多くの機関、団体の連携を図った。 ・生涯学習講座に加え、ワークショップの場を創設した。 ・コロナ感染症の影響により、愛知大学との包括協定に基づく「サマースクール」を廃止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全を保障するとともに、地域の方と触れ合う機会となった。 ・町に関する学習活動の機会が増え、より多くの人と交流できた。地域の一員としての自覚をいっそう高めたい。 ・学校と地域の各々の需要が明らかになり、連携した活動がしやすくなり、把握もできた。その結果として子どもの体験機会が増えた。 ・関心のある活動を経験したり、多様な活動に触れられる場が増えた。 ・人との出会いの機会を増やして人間関係づくりを体験させ、社会性を高める機会を設けたい。

基本施策 3 生涯学習・生涯スポーツ

第6次総合計画（後期計画 令和3～7年度）	
現状と課題	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会に加盟しているスポーツ団体の登録者数は減少傾向にありますが、スポーツ活動は各団体ともに活発に行われています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習では、生涯を通じて学び成長する機会に対するニーズは多様化していますが、講師の確保が困難であるため、住民ニーズに対して十分な講座の開講ができていません。 ・ 総合社会教育文化施設では、利用者数の減少と共に収益も減少しています。ハード面では、各施設の老朽化が目立っており、花祭会館の耐震性も課題となっています。
施策がめざす将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民が生涯を通して自主的に学習できる機会が充実しています。 ・ 町民がスポーツを通じて、体力や健康の維持に取り組んでいます。
個別施策	<p>1. 生涯学習の充実</p> <p>多様な学習ニーズに対応するため、民間の人材やノウハウの活用を図るとともに、地元の学校や東三河管内の生涯学習実施機関との連携などにより、各種講座の充実を図ります。</p> <p>中学生を対象とした公営塾を放課後や休日に開設し、学力の底上げを行います。</p> <p>2. スポーツ活動の充実</p> <p>子どもから高齢者まで誰もが楽しむことができ、積極的に取り組むことができるスポーツ活動の充実に努めるとともに、各種スポーツ団体の活動を支援します。</p> <p>あわせて、小中学校における体育指導会及び部活動のあり方が変化する中、今後は地域におけるスポーツ活動の重要度がさらに増すことが見込まれます。コミュニティ・スクールとも連携し、団体における人材確保に取り組めます。</p> <p>3. 総合社会教育文化施設の充実と利用促進</p> <p>生涯学習や生涯スポーツに引き続き取り組めるよう、社会教育施設、社会体育施設のうち、改修・修繕等が必要な施設については、改修計画を策定し、緊急度に応じて改修・修繕等を行います。</p> <p>東栄グリーンハウスや森林体験交流センター等については、町内外の人が利用している施設です。引き続き多くの人に活用してもらえよう、利用促進を図ります。</p>

施策評価シート（基本施策3 生涯学習・生涯スポーツ）

個別施策	令和3年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
3-1 生涯学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の社会教育・体育施設などを活用して16の講座を開設し、延べ82回を運営した。1回終了の講座を創設した。 ・文化協会からの申し出を受けて協会の再編について検討した。 ・令和3年3月現在、延べ38名のボランティア指導者が活躍している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の関心と講師の教える意欲が呼応し、充実した講座を実施することができた。1回終了の講座も多く参加者があった。 ・実情に応じた持続可能な組織と活動のあり方を定めることができた。若い世代の参加を増やしたい。 ・指導者の高齢化への対応と新たな人材発掘が引き続き必要である。
3-2 スポーツ活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・B&G事業として、水辺の安全教室(小学校)、水慣れ指導(保育園)、カヌー教室(生涯学習)、オリパラ写真展を行った。 ・様々なスポーツに取り組めるよう、希望に応じた生涯スポーツ講座を開設した。 ・名古屋グランパスサッカー教室を開催した。ドラゴンズ選手による野球教室はコロナ感染症の影響のため中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B&G事業と連携して活動を推進し、水泳技能の上達や安全に対する意識向上に寄与した。オリンピック・パラリンピックへの関心を高めた。 ・各種スポーツを愛好する町民の活動の場を提供できた。高齢化や参加者の減少にどう対応していくかが課題である。 ・子どもたちの技能や意欲を高める貴重な機会が失われた。参加者数が減少する傾向にあり、どう対応していくかが課題である。
3-3 総合社会教育文化施設の充実と利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館・プールはコロナ感染症の影響で一時期利用を制限したが、例年並みに利用できた。 ・総合文化施設の管理運営については、シルバー人材センターを指定管理者として適正に管理を行った。 ・民芸館収蔵品のデータ化を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に高齢者が活用したくなる計画の企画が必要である。プールの年間を通じての利用方法を考えたい。 ・計画的な運営と施設整備を行った。コロナ感染症の影響によって利用を制限・中止せざるを得ない場面があった。 ・収蔵品のデータ化が完了した。計画的かつ定期的な展示を計画したい。博物館の資料の整理と利用方針の検討が必要である。

基本施策 4 文化の保存と継承

第6次総合計画（後期計画 令和3～7年度）	
現状と課題	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町の文化を保存・継承していくため、民具や古文書などの有形文化財の保管や保全によって散逸防止を図っています。 花祭の保存伝承のため、花祭会館の展示内容や展示方法の見直しを行うとともに、映像等をデジタル化しています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口の減少により、地域活動の担い手が減る中、花祭やシカウチ行事といった民俗芸能の保存・伝承を担う後継者が不足しています。
施策がめざす将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> 花祭やシカウチ行事などの伝統文化が伝承されています。 文化財等を通じ、町民が町の歴史を知り、故郷の価値を実感できています。
個別施策	<p>1. 伝統文化の継承</p> <p>各地域に伝わるお祭りや伝統芸能は、地域の保存会等によって継承されています。人口減少により地域での担い手確保が困難となる中、地域が望む形で継承できるようにしていく必要があります。そのため、伝統文化の継承につながるよう、各保存団体が抱える課題の共有や解決のための工夫などについて、お互いに意見交換ができる環境を整えます。</p> <p>2. 文化財の保存・継承環境づくり</p> <p>町民に地域の歴史や文化に対する認識を促し、愛護意識を高めるため、町内に存在する文化財のPRを強化するとともに、文化財を活用した学習講座の開催など、貴重な文化遺産の周知に努めます。また、文化財を保存・展示する環境整備を図ります。</p>

施策評価シート（基本施策4 文化の保存と継承）

個別施策	令和3年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
<p>4-1 伝統文化の継承</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症への対応と、将来への継承のための方策を共有するため、昨年度に続き花祭り保存会長会を開催した。 ・県費を有効活用し無形民俗文化財に対する補助事業を実施し、足込地区と河内地区の衣装を新調した。 ・国の予算について補助金の情報を提供し、希望地区の花祭りの道具や衣装の新調及び修繕をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の考えを出し合い共有することで、各地区で継承のために必要な内容を工夫して実施できた。 ・花祭後継者育成の意欲付けの一助となった。 ・花祭の衣装や道具は高価なものが多いため、今回の措置により大幅な改善が可能となり、継承の意欲を高めることにつながる。
<p>4-2 文化財の保存・継承環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国県指定の無形民俗文化財と、県町指定無形民俗文化財の保存団体に補助金を交付した。 ・花祭会館の展示の変更を名古屋大学佐々木教授に委託した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施と保存のために必要な経費や道具・施設の整備に使われている。コロナ禍を乗り切る意欲を高めたい。 ・展示を変え簡潔にすることによって、初めての入場者にわかりやすくなった。一定期間で展示を変えるようにしたい。

基本施策 5 多様な学びの場

第6次総合計画（後期計画 令和3～7年度）	
現状と課題	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 性別や年齢、国籍に関係なく誰もが互いに人権を尊重し、その個性と能力を十分に発揮できる社会が求められます。 次世代を担う子どもたちの国際理解を深めるため、中学生の海外派遣を行っています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本町で暮らす外国人は、今後は増加することが予想されるとともに、本町を訪れる外国人が増加することも期待され、より外国の方が暮らしやすく、また訪れやすい環境づくりが望まれます。さらに、引き続き、中学生の海外派遣を行い、これらを通じて国際交流や国際理解を推進する多文化共生の社会づくりを目指していく必要があります。
施策がめざす将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> 差別や偏見がなく、誰もが暮らしやすい地域社会が形成されています。 国際交流などを通じ、暮らしの多様性への理解が深まっています。
個別施策	<p>1. 人権尊重の推進</p> <p>人権に関する広報活動や人権学習等を通じて差別等の無い地域社会づくりに向け、人権擁護委員による相談等を実施します。</p> <p>2. 国際交流を通じた多様性への理解</p> <p>町民の国際理解を深めるため、国際理解教育の充実や異文化の体験、外国人とふれあう機会などによって、国際感覚を身につけた人材を育成します。あわせて、文化や暮らしの多様性についての理解を深めます。</p>

施策評価シート（基本施策5 多様な学びの場）

個別施策	令和3年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
5-1 人権尊重の推進	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校とも人権学習を実施した。日常的に児童生徒観察と職員間の情報共有を行い、いじめを見つけて対応するとともに、人権週間の重点的指導など各種の学習を年間指導計画に位置付けて、人権意識の高揚に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめにつながる児童生徒の行動の早期発見と指導ができており、他者への思いやり、差別を許さない意識、命を大切にすることを育てることができた。時代に即応した意識の指導が必要になる。
5-2 国際交流を通じた多様性への理解	<ul style="list-style-type: none"> 中学生海外派遣事業を計画したが、コロナ感染症の影響により中止した。 代替措置として、外国人留学生との2泊3日の語学研修を実施した。また、カナダの交流校であるRCA校とのオンライン交流を3日間行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 海外での生活を体験することで学ぶことは大きく、その場を提供できなかった影響も大きい。 ホテルやバスの車中を英語で過ごすことで疑似的な体験ができ、生徒も有意義な体験として受け止めている。オンライン交流も生徒の意識を高める効果があった。

令和3年度 主要施策の成果に関する報告書

教育委員会事業

担当課係： 教育課教育総務係

決算書： 125・127

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	8,873	8,816	1,481			7,335
1 項 教育総務費						
1 目 教育委員会費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 全般

[概要]

教育委員会は、地方教育行政を安定的・継続的に運営していく機関として重要な役割を担っている。これらの役割を果たすため、各種会議や審議を通し議論を深め、その執行を行った。

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業】

該当事業：新型コロナウイルス感染拡大防止事業・飛沫パーテーション整備事業

[実績・成果]

○教育委員会の活動等

- ・ 総合教育会議 (9月27日・2月18日)
 - ・ 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
 - ・ 令和3年度主要事業の進捗状況について
 - ・ 令和4年度の教育方針について
- ・ 定例教育委員会 12回 (毎月)
 - ・ 令和4年度使用小中学校教科用図書の採択
 - ・ 令和3年度準要保護児童生徒の認定
 - ・ 新型コロナウイルス感染症対策・小中学校の対応
 - ・ 令和4年度教育方針について
- ・ 定例校長・園長会 臨時開催を含む12回
 - ・ 会議の報告
 - ・ 保育園、小学校、中学校、教育委員会の情報共有
- ・ 学校訪問 2校 (6月17日)
 - ・ 公開授業、諸帳簿閲覧 等

教育大綱をはじめとする教育行政全般にわたる諸案件を、総合教育会議、教育委員会会議などにおいて協議し、適切に執行した。

単位：千円

高校への就学支援事業

担当課係： 教育課教育総務係 決算書： 127

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	3,241	3,241				3,241
1 項 教育総務費						
1 目 教育委員会費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
基本施策 1 学校教育

[概要]

高校への通学費や私立高等学校授業料の一部を補助することにより、高校への就学を支援した。

[実績・成果]

○高校生通学費等補助事業

根拠： 東栄町高等学校通学費等補助金交付要綱

目的： 東栄町から高等学校に通学する生徒の保護者に対して通学費等の補助を行うことにより、都市部との負担の格差是正を図る。

補助額： 学校の所在地により46千円～83千円

令和3年度補助額： 47名 3,181,000円

○私立高等学校授業料助成金

根拠： 東栄町私立高等学校授業料補助金交付要綱

目的： 私立高校に在籍する生徒の保護者に対して授業料の補助を行うことにより、公立学校との父母負担の格差是正を図り、教育の機会均等を確保する。

補助額： 1学年度 12千円

令和3年度補助額： 5名 60,000円

教育委員会事務局事業

担当課係：教育課教育総務係 決算書：127

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	47,761	47,532				47,532
1 項 教育総務費						
2 目 事務局費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 全般

[概要]

教育委員会の運営維持、教育委員会活動の充実を図った。また、各種会議を通じ、諸問題の解決や情報共有を図った。

[実績・成果]

○いじめ問題対策協議会

開催日	令和3年7月27日	令和4年3月23日
内 容	いじめ問題対策協議会について いじめ防止基本方針 いじめの現状	いじめの現状 防止等のための取組について 関係機関との情報共有

○通学路交通安全対策連絡会

開催日： 令和3年7月8日

内 容： 各機関における交通安全対策への取り組みについて

開催日： 令和3年9月16日（緊急事態宣言期間中のため書面開催）

内 容： 通学路危険箇所点検結果について
通学路標識の廃棄及び新設について

開催日： 令和4年3月17日

内 容： 通学路交通危険箇所対策一覧表の公表について

いじめ問題対策協議会、通学路交通安全対策連絡会等の会議を通じ、諸問題に対する課題を関係者と共有し、問題の予防と解決を関係者に働きかけた。

外国語指導助手（ALT）配置事業

担当課係：教育課教育総務係 決算書：127

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	4,505	4,505				4,505
1 項 教育総務費						
2 目 事務局費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 1 学校教育 ・ 5 多様な学びの場

[概要]

小学校・中学校へ外国語指導助手（ALT）を派遣し、英語教育の充実を図っている。

[実績・成果]

○外国語指導助手（ALT）の配置事業

業務内容

- (1) 国際理解教育、英語教育に関するコンサルティング
- (2) 国際理解教育、英語教育に係るレッスンの企画及び提案
- (3) 外国語指導助手による英語指導業務
- (4) その他

学校への派遣状況

- ・ 東栄中学校に常駐し、英語授業の補助を行った。
- ・ 週2日東栄小学校へ派遣し、外国語授業の補助を行った。

外国語指導助手（ALT）1名を東栄中学校に配置し、中学校・小学校の授業で教員を補助。正しい英語の発音と、生きた文法表現を用いた英語教育を実施。聞く力や表現する力等、総合的に英語能力を高めた。

学校基本調査事業

担当課係：教育課教育総務係 決算書：129

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	6	5	4			1
1 項 教育総務費						
3 目 学校基本調査費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 1 学校教育

[概要]

文部科学省が毎年度行う調査。5月1日時点の学校数、学級数、在学者数、教職員数、卒業後の状況、施設、経費等の基本事項が調査対象となっている。

[実績・成果]

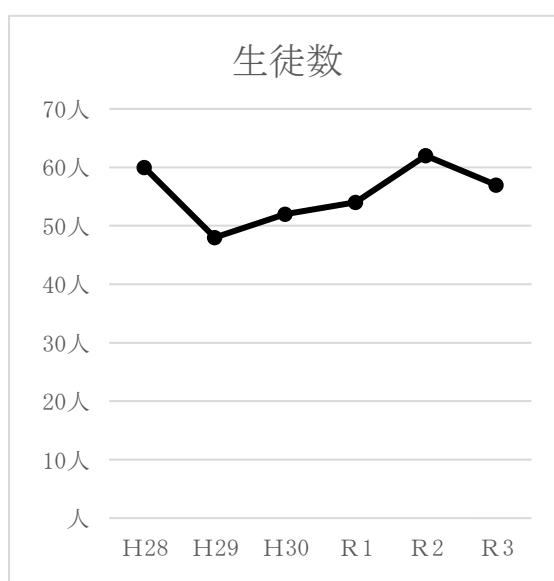
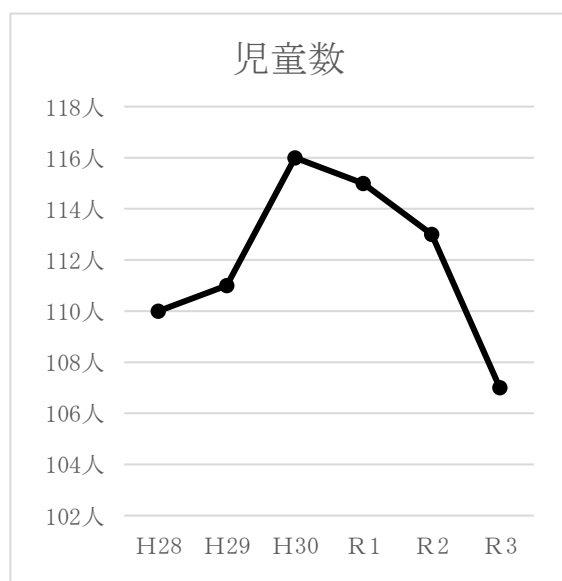
統計法に基づき、令和3年5月1日現在の学校基本調査を実施した。

○小学校の児童数の推移

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
児童数	110人	111人	116人	115人	113人	107人

○中学校の生徒数の推移

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
生徒数	60人	48人	52人	54人	62人	57人



小学校教育振興事業

担当課係：教育課教育総務係 決算書： 131

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	7,192	6,759	197			6,562
2 項 小学校費						
2 目 教育振興費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 1 学校教育

[概要]

児童が学習しやすい学校環境をつくり、教育活動の推進を図った。

[実績・成果]

○特別支援教育支援員の配置

概要： 特別支援学級・通常教室に在籍し特別な支援を要する児童に対し、教員の補助員となる特別支援教育支援員を配置して、生活面・学習面を支援した。

支援員： 3人/日 (登録者6人)

○リーディングスキルテスト

概要： 文章に書かれている意味を正確にとらえ、新しい知識を身に付けるために必要な「読む力」を科学的に測定・診断し、個別指導の一助とした。

受講者： 小学6年生 15名

○小学校に対する委託事業 (県からの受託事業)

名称	委託金額	内容
魅力あるあいちキャリアプロジェクト	70,000円	まち巡り体験等を通じ、町の魅力に気づき未来を自発的に考える

○就学のための支援

名称	支給者数	金額
特別支援教育就学奨励費	2名	31,040円
準要保護児童扶助費	4名	147,410円

小学校施設整備事業

担当課係： 教育課教育総務係 決算書： 131

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	1,542	1,542				1,542
2 項 小学校費						
3 目 学校施設整備費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 1 学校教育

[概要]

教育・学習環境を確保するため、必要な物品及び施設設備の維持管理を行った。

[実績・成果]

○学校施設の修繕状況

項目	金額	備考
小学校前歩道補修工事	286,000円	小学校前の歩道補修
体育館IP多機能端末交換	325,600円	インターネット環境の整備

○備品の整備状況 (森林環境譲与税充当事業)

品名	数量	金額	納入日
木製ロッカー (大)	3台	620,400円	令和4年3月30日
木製ロッカー (中)	2台	220,000円	
ヒノキ製 木製天板	14枚	89,320円	
計		929,720円	



<木製ロッカー (中)>

中学校管理事業

担当課係：教育課教育総務係

決算書：131・133

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	16,665	15,719	1,534		544	13,641
3 項 中学校費						
1 目 学校管理費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 1 学校教育

[概要]

東栄中学校の学校経営に必要な維持管理を行った。

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業】

該当事業：学校特別対策事業（繰越事業）

[実績・成果]

○東栄中学校 教育目標

「自ら学び 心豊かに たくましく」

「天地人教育」の理念を基盤とし、知・徳・体の調和と統一のとれた豊かな人間性の啓培に努め、たくましく生きる実践力を持った国家・社会の有為な形成者としての資質の教育を期した。

○東栄中学校の状況

学校名	学級区分	学級数	生徒数			
			1年	2年	3年	計
東栄中	単式学級	3	16	21	17	54
	特別支援	2	1	1	1	3
	合計	5	17	22	18	57

○ICT教育の推進

令和2年度に公立学校情報機器整備費補助金を活用し、一人一台タブレット端末を導入した。授業等での活用を推進する他、新型コロナウイルス感染症等による臨時休校等に備え、家庭での活用もできるよう、Wi-Fi環境のない家庭へのモバイルルーター貸出し制度を構築した。（利用実績はなし。）

中学生海外派遣事業

担当課係：教育課教育総務係 決算書：133

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	3,309	3,309	734		544	2,031
3 項 中学校費						
1 目 学校管理費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 1 学校教育 ・ 5 多様な学びの場

[概要]

中学3年生を海外（カナダ）に派遣し、学校交流やホームステイ等を通じて言語や文化の違いを体験し、豊かな国際感覚を身につける「中学生海外派遣事業」を実施している。

[実績・成果]

令和3年度は昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響によって海外派遣を中止し、留学生との交流プログラム及び交流校とオンラインで交流を行った。

○留学生との交流プログラムの実施（語学研修）

中学生海外派遣を中止したものの、国内での語学研修として、留学生との交流プログラムを実施した。二日間にわたって国内の景勝地を留学生とともに巡る中で、言語や文化の違いを体験しながらコミュニケーション能力を高めることができた。

令和3年10月14日（木）

東栄町---奈良井宿(留学生と合流)---松本城(散策)---ホテル(留学生と交流)

令和3年10月15日（金）

ホテル---小布施(散策)---善光寺(散策・留学生とお別れ)---ホテル

令和3年10月16日（土）

ホテル--立山黒部アルペンルート(黒部ダム見学)---東栄町



留学生に日本の文化を説明



班に分かれて自己紹介

[実績・成果]

○オンライン交流の実施

令和2年度同様に、中学生海外派遣事業の交流校であるリージェント・クリスチャン・アカデミー校（RCA校）と3日間にわたってオンラインで交流を行った。

令和4年2月2日（水） 8：30～10：00 （カナダ・・・前日15：30～17：00）

RCA校生徒によるLIVEキャンパスツアー

ZOOMによる自己紹介、インタビュー

令和4年2月3日（木） 8：30～10：00 （カナダ・・・前日15：30～17：00）

RCA校生徒,プレゼンテーション---カナダの文化、カナダの地理

東栄中学校生徒プレゼンテーション---学校紹介、東栄町の紹介

グループディスカッション

令和4年2月4日（金） 8：30～10：00 （カナダ・・・前日15：30～17：00）

オンラインゲーム



RCA校生徒,プレゼンテーション



東栄中学校生徒プレゼンテーション

中学校教育振興事業

担当課係：教育課教育総務係

決算書：133・135

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	6,055	5,716	283			5,433
3 項 中学校費						
2 目 教育振興費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 1 学校教育

[概要]

生徒が学習しやすい学校環境をつくり、教育活動の推進を図った。

[実績・成果]

○リーディングスキルテスト

概要：文章に書かれている意味を正確にとらえ、新しい知識を身に付けるために必要な「読む力」を科学的に測定・診断し、個別指導の一助とした。

受講者：中学1年生 17名

○中学校に対する委託事業（県からの受託事業）

名称	委託金額	内容
魅力ある あいちキャリアプロジェクト	35,000円	地域調べ学習や職場体験活動

○とうえい地域未来塾

参加者：中学1年生 9名

実施教科：国語・社会・数学・理科・英語

実施回数：6月～3月（オンライン授業22回・対面授業12回）

○就学のための各種支援

名称	支給者数	金額
特別支援教育就学奨励費	3名	82,633円
準要保護生徒扶助費	1名	104,165円
自転車購入補助金	3名	45,000円

中学校階段昇降機設置事業（繰越事業分）

担当課係： 教育課教育総務係 決算書： 135

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	4,480	3,472	2,240			1,232
3 項 中学校費						
3 目 学校施設整備費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 1 学校教育

[概要]

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業】

車いす等利用者が三密を避けながら3階建て校舎を昇降ができるよう、階段昇降機を設置した。

[実績・成果]

○備品の整備状況

品名	数量	金額	設置完了日
階段昇降機	1式	3,471,435円	令和3年11月13日



中学校施設整備事業（繰越事業を除く）

担当課係： 教育課教育総務係 決算書： 135

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	347	347				347
3 項 中学校費						
3 目 学校施設整備費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 1 学校教育

[概要]

教育・学習環境を確保するため、必要な物品及び施設設備の維持管理を行った。

[実績・成果]

○備品の整備状況 （森林環境譲与税充当事業）

品 名	数量	金額	納入日
ヒノキ製 机椅子セット	5組	126,500円	令和4年3月30日



〈机椅子セット〉

小中学校保健体育事業

担当課係：教育課教育総務係 決算書：135

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	2,856	2,398				2,398
4 項 保健体育費						
1 目 保健体育費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 1 学校教育

[概要]

学校保健安全法に基づく児童生徒健康診断や教職員健康診断を実施するとともに、小・中学校の保健体育関係の行事に対する補助等を行い、円滑な学校行事推進を図っている。

[実績・成果]

○健康診断

1. 小中学校児童生徒の健康診断 362,076円
 - ・内科検診、尿検査、心電図、貧血・脂質検査、プール前健診、修学旅行前健診、マラソン前健診、就学前健診（東栄医療センター）
 - ・耳鼻科検診（郡学校保健会・浜松医大）
 - ・歯科検診（よつば歯科クリニック）
2. 教職員の健康診断 541,696円
 - ・定期健康診断（しらゆりクリニック）
 - ・胃検診（東栄医療センター）
 - ・ストレスチェック（聖隷健康診断センター）

○小学校に対する補助

名称	補助金額	内容
スキー教室バス補助金	337,510円	スキー教室に伴うバス代等への補助 (令和4年1月31日茶臼山スキー場で実施)
環境整備事業補助金	20,000円	校内、花壇等の環境整備への補助

○中学校に対する補助

名称	補助金額	内容
体育活動費補助金	697,003円	部活動の派遣費、運営費の補助
スキー教室バス補助金	139,600円	スキー教室に伴うバス代等への補助 (令和4年1月24日茶臼山スキー場で実施)
環境整備事業補助金	20,000円	校内、花壇等の環境整備への補助

全児童生徒、全教職員の健康診断を行い、健康上の問題があった者はいなかった。また、小中学校へ各種補助を行い、円滑に学校行事を進めることができた。

学校給食事業

担当課係：教育課教育総務係 決算書：135・137

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	31,917	31,377	4,285		6,261	20,831
4 項 保健体育費						
2 目 学校給食共同調理場費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 1 学校教育

[概要]

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業】

学校給食法に基づき、児童生徒へ安全安心な給食を提供している。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている住民生活の支援策の一つとして、子育て世代への負担軽減を目的に、小中学校の給食費を減免した。

[実績・成果]

○給食実施日数

年度	小学校	中学校
令和元年度	171日	167日
令和2年度	166日	165日
令和3年度	191日	184日

○給食費

	給食費（1食あたり）	補助額	保護者負担額
小学生	270円	140円	130円
中学生	300円	150円	150円

年度	給食調理にかかる費用	給食費（検食・教職員分を含む）		
		合計	徴収額	補助額
令和元年度	9,706,181円	9,363,450円	9,363,450円	—
令和2年度	10,044,343円	10,197,570円	6,563,430円	3,634,140円
令和3年度	10,856,856円	10,615,530円	6,261,280円	4,354,250円

○食物アレルギーの対応

学校における食物アレルギーの事故を防止するため、対象児童生徒の保護者と、調理場長、栄養教諭、給食主任、養護教諭、教育課担当者による「学校給食対応打ち合わせ会」を毎月開催し、原因食物の除去対応等について確認した。

社会教育事業

担当課係：教育課生涯学習係

決算書：137・139

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	852	624				624
5 項 社会教育費						
1 目 社会教育総務費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
基本施策 全般

[概要]

様々な年齢層の学習機会を確保するため、生涯学習講座の年間にわたる開設を中心に、その発表の場としての文化祭を開催するなど、社会教育活動の充実を目的としている。

[実績・成果]

- 令和3年度社会教育審議会(1回)
開催日 令和3年7月5日(月)
協議事項 ・役員を選任について
・生涯学習講座について
・令和3年度主催事業について
・文化祭・成人式について
・社会教育委員研修会について
- 令和3年度社会教育審議会(2回)
開催日 令和4年3月23日(水)
協議事項 ・令和3年度事業の経過について
・令和4年度社会教育委員研修会について
・生涯学習について
・文化祭・成人式について
- 令和4年東栄町成人式
開催日 令和4年1月9日(日)
会場 東栄町立東栄中学校体育館
参加者 新成人25名(28名中)、家族31名、来賓25名
アトラクション 志多ら演奏
- 東栄町図書室(のき山文庫)
・令和4年度蔵書数 3,528冊
新刊図書48冊 寄贈図書47冊 子育て支援センター蔵書26冊
・相互貸借図書(他の図書館蔵書の図書を借りられる)
・流通図書(愛知県図書館から定期的に図書を借りられる)

○団体への補助

団体名	補助額	内容等
東栄町文化協会	224,248円	研修、講演会 「東栄文化」発行等

社会教育活動の推進や文化の交流促進など幅広い世代が参加する事業を展開し、社会教育活動の充実を図った。

文化財保存・伝承事業

担当課係： 教育課生涯学習係 決算書： 139

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	3,586	3,559	23			3,536
5 項 社会教育費						
2 目 文化財費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
基本施策 全般

[概要]

コロナ禍の中で、無形民俗文化財花祭の再開に向け、各花祭保存会が開催の可否の判断材料を得ることのできる機会を提供した。文化財保護事業として、鳳来寺山自然科学博物館、豊橋市自然史博物館学芸員の助言を受け、奈根加久保生痕化石の清掃と文化財の保護を実施した。また、普及啓発事業として、愛知県史跡整備市町村協議会のイベントと連携し、県指定史跡設楽城跡の御城印を配布した。

[実績・成果]

- 令和3年度文化財審議会(1回)
 - 開催日 令和3年7月8日(木)
 - 審議事項
 - ・埋蔵文化財包蔵地の問い合わせについて
 - ・月地区引田遺跡発掘調査について
 - ・御城印配布イベントについて
 - ・安藤家文書について
- 令和3年度文化財審議会(2回)
 - 開催日 令和4年3月1日(火)
 - ・各地区の花祭等実施状況について
 - ・埋蔵文化財包蔵地問い合わせについて
 - ・カモシカ滅失・現状変更について
 - ・月地区三ツ井のさいの神について
 - ・奈根加久保生痕化石について
 - ・阿部順子氏所蔵「人工帳」寄贈について
 - ・文化庁令和3年度補正予算事業について
 - ・月地区引田遺跡見学
- 町指定文化財「奈根加久保生痕化石」保護事業

令和4年1月落石や草木の侵入が顕著にみられる奈根加久保生痕化石の保護フェンス内を清掃。清掃後、ブルーシートを法面に設置し文化財を簡易的に保護。
- 県指定文化財「設楽城跡」

新規の標柱を1本設置。
- 愛知県史跡整備市町村協議会30周年記念イベント

あいちの史跡をめぐって御城印・御史跡印を集めよう
東栄町 御城印「設楽城」 1,499枚配布
期間 令和3年10月1日から令和4年3月31日
配布場所 東栄町教育委員会、東栄町役場、花祭会館

[実績・成果]

○団体への補助

事業名	対象団体	補助額	備考
文化財 保存事業	各地区花祭保存会	500,000円	50,000円×10花祭保存会
	シカウチ神事保存会 (布川・月・小林・古戸) 下田巫女神楽 下田盆踊り 上粟代の念仏踊り 古戸の念仏踊り 足込の念仏踊り 月の念仏踊り	100,000円	10,000円×10団体

○令和3年度花祭保存会長会議

開催日 令和3年7月21日(水)

- 議題
- ・行事開催状況について
 - ・東栄フェスティバルの状況
 - ・近隣市町村文化財等実施状況
 - ・各花祭保存会の現状について
 - ・情報交換

社会体育事業

担当課係：教育課生涯学習係 決算書：139

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	1,962	1,262				1,262
5 項 社会教育費						
3 目 社会体育費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 全般

[概要]

各種スポーツを通じ、スポーツに参加する機会の創出、町民の健康増進、連帯感の養成、青少年の健全育成を目的とした事業を行う。

[実績・成果]

- 愛知県市町村対抗駅伝競走大会
中止

- 令和3年度名古屋グランパスエイト東栄サッカー教室
開催日 令和3年10月16日(土)
会場 東栄ドーム 総合グラウンド
参加者 東栄FC 42名

- 三遠ネオフェニックス奥三河DAY
開催日 令和3年4月4日(日)
会場 豊橋市総合体育館
東栄町申し込み 19名

- 三遠ネオフェニックスバスケットボール教室
開催日 令和3年12月8日(水)
会場 東栄町立東栄小学校
対象 小学5年生 小学6年生
小学5・6年生の授業内で三遠ネオフェニックスの交流事業としてバスケット教室を開催。

- 北設スポーツ教室・中日ドラゴンズ野球教室
中止

- 令和3年度北設楽郡スポーツ推進委員連絡協議会総会・研修会
開催日 令和3年5月29日(土)
会場 東栄町B&G海洋センター体育館
競技 ボッチャ

○団体への補助

事業名	対象団体	補助額	備考
社会体育 振興事業	少年少女スポーツクラブ	45,000円	空手クラブ
	東栄町体育協会	520,000円	体育振興助成金等

文化祭・生涯学習講座

担当課係：教育課生涯学習係

決算書：139・141

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	2,163	1,906	827			1,079
5 項 社会教育費						
4 目 生涯学習推進事業費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
基本施策 全般

[概要]

生涯学習講座を開催し、様々な年齢層に対して多様な学習の機会を確保した。

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業】

該当事業：飛沫パーテーション整備事業

[実績・成果]

- 令和3年度町民作品展覧会
期間 令和3年10月30日（土）から11月7日（日）
会場 東栄町B&G体育館
参加団体 21団体 3個人
特別展示「東栄町のジオサイト」「引田遺跡」
特別展示「三遠ネオフェニックス展示」
書道ワークショップ「ポストカードをつくろう」
11月3日（水）5日（金）7日（日）3回
来場者 765人
- 令和3年10月31日（日）
東栄中学校合唱
文化講演会 講師 金澤泰子・翔子（書道家）
「ダウン症の娘と共に生きて」
会場 花祭会館
- 令和3年11月27日（土）
町民芸能まつり
会場 東栄町立東栄小学校 体育館
参加団体 9団体

[実績・成果]

○生涯学習講座の実施状況

講座名	小学生	中学生	一般	開催日	延数	回数
ソフトテニス教室	○			5/11～5/18（全2回）	23人	2回
和楽器に親しむ会	○	○	○	5/11～11/27（全6回）	40人	6回
茶道に親しむ会	○	○	○	5/15～11/6（全5回）	53人	5回
基本の生け花教室	○	○	○	5/15～11/7(全7回)	34人	7回
フラワーアレンジメント教室	○	○	○	5/29～12/5（全3回）	38人	3回
東栄ブラスバンド	○	○	○	5/10～11/27（全27回）	340人	27回
さわやかコーラス			○	6/25～11/26（全8回）	64人	8回
理科と手品で不思議研究講座		○	○	6/27～3/13（全6回）	38人	6回
カヌー教室	○			7/22～7/29(全3回)	18人	3回
将棋教室	○	○		7/28～8/23(全3回)	59人	3回
ニュースポーツ教室	○	○	○	10/7～10/28（全4回）	32人	4回
植物を知ろう	○	○		7/4、11/7(全2回)	2人	1回
勾玉作り	○	○	○	8/7～8/11(全2回)	30人	2回
組みひも作り	○	○	○	8/21(全1回)	8人	1回
スプレーアート体験	○	○	○	9/25(全2回)	13人	1回
書道体験	○	○	○	11/3～11/7(全3回)	41人	3回

総合社会教育文化施設運営事業

担当課係： 教育課生涯学習係 決算書： 141

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	31,635	26,316				26,316
6 項 総合社会教育文化施設費						
1 目 総務管理費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 3 生涯学習・生涯スポーツ

[概要]

総合社会教育文化施設（グリーンハウス・花祭会館・博物館・民芸館・体育施設）の管理・運営を、公益社団法人東栄町シルバー人材センターに指定管理者制度で委託した。

[実績・成果]

○指定管理施設

管理施設等	指定管理者	指定期間
<ul style="list-style-type: none"> ・総合社会教育文化施設 ・花祭会館、民芸館、博物館 の展示品	公益社団法人東栄町シルバー人材センター	令和3年4月1日から 令和6年3月31日まで

○指定管理料の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
指定管理料	19,189千円	14,789千円	16,762千円

新型コロナウイルス感染症の影響により、総合社会教育文化施設は、5月12日より6月20日（緊急事態宣言時）、6月21日より7月11日（まん延防止等重点措置時）、7月12日より8月11日（厳重警戒措置時）、8月21日より9月12日（まん延防止等重点措置時）、10月1日より10月17日（愛知県厳重警戒措置時）等の営業時間短縮と3密を回避するためにグリーンハウスの宿泊者受け入れを定員の半数として営業を行った。

グリーンハウスの管理運営

担当課係： 教育課生涯学習係 決算書： 141

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	718	712			712	
6 項 総合社会教育文化施設費						
2 目 グリーンハウス費						

総合計画

- 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 3 生涯学習・生涯スポーツ

[概要]

グリーンハウスの管理・運営を、公益社団法人東栄町シルバー人材センターに指定管理者制度で委託した。

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業】

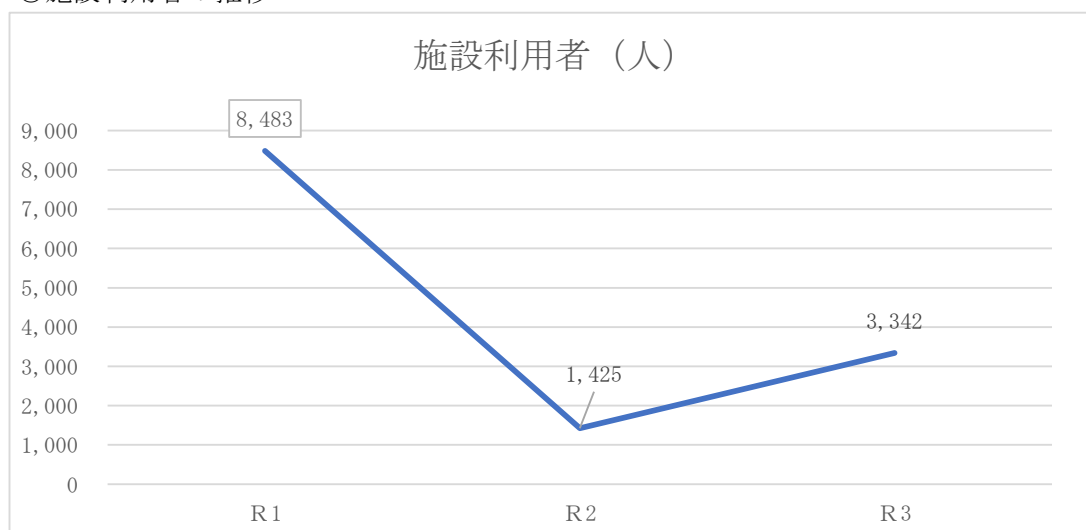
サーマルカメラ・足踏み消毒器等の備品の購入

[実績・成果]

○グリーンハウスの利用状況推移

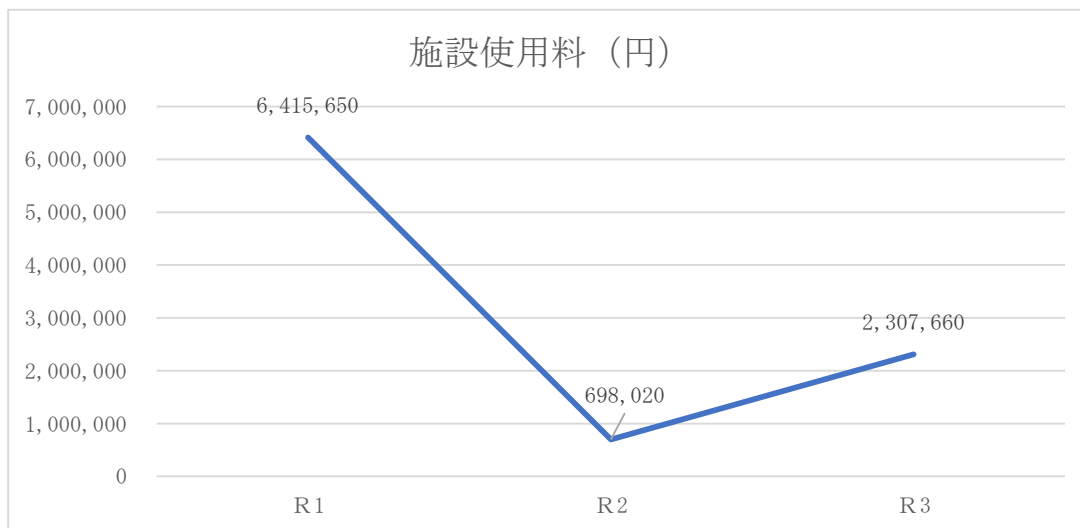
区 分	延べ利用者	うち宿泊者	使用料
令和元年度	8,483人	4,196人	6,415,650円
令和2年度	1,425人	406人	698,020円
令和3年度	3,342人	1,476人	2,307,660円

○施設利用者の推移



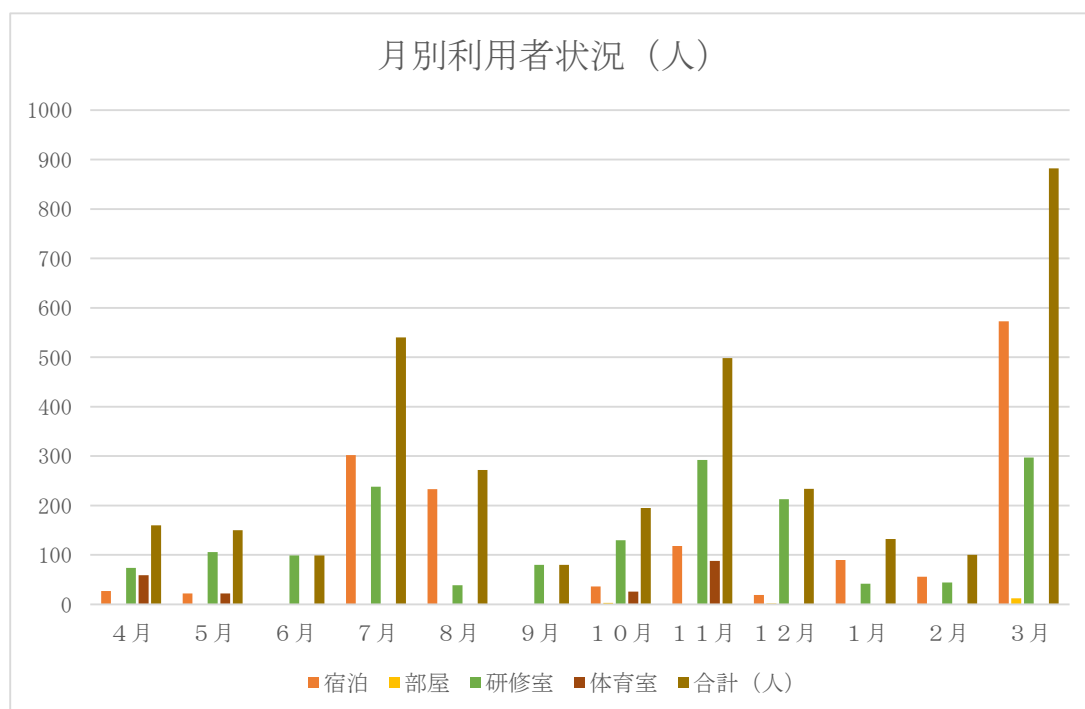
[実績・成果]

○施設使用料の推移



○グリーンハウス月別利用者数（R3年度）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
宿泊	27	22		302	233		36	118	19	90	56	573
部屋							3		2			12
研修室	74	106	99	238	39	80	130	292	213	42	44	297
体育室	59	22					26	88				
合計（人）	160	150	99	540	272	80	195	498	234	132	100	882



博物館及び民芸館の管理運営

担当課係： 教育課生涯学習係 決算書： 141

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	50	31			31	
6 項 総合社会教育文化施設費						
3 目 博物館及び民芸館費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 4 文化の保存と継承

[概要]

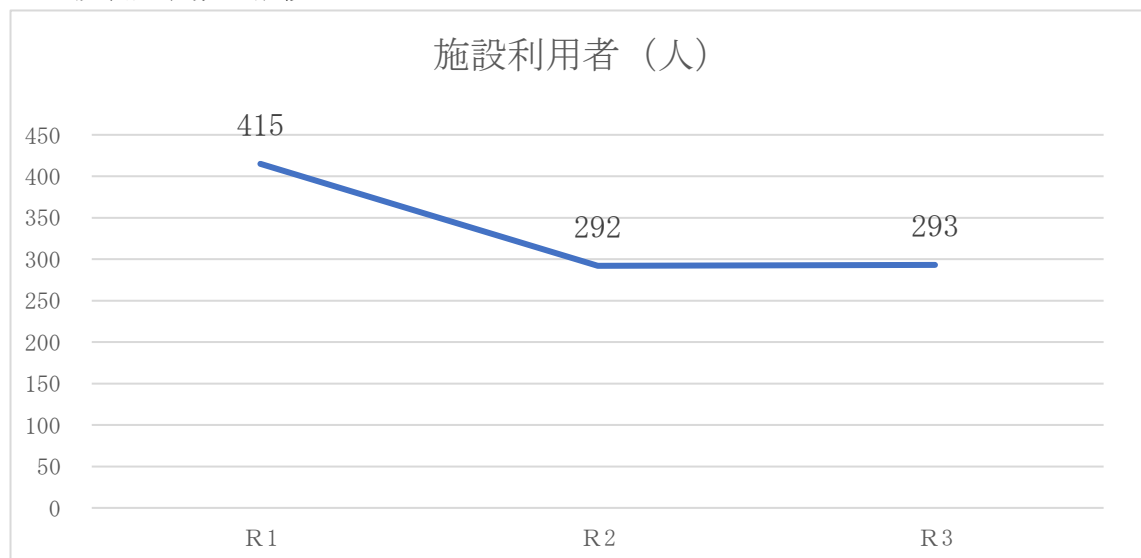
博物館及び民芸館の管理・運営を、公益社団法人東栄町シルバー人材センターに指定管理者制度で委託した。

[実績・成果]

○博物館及び民芸館の利用状況の推移

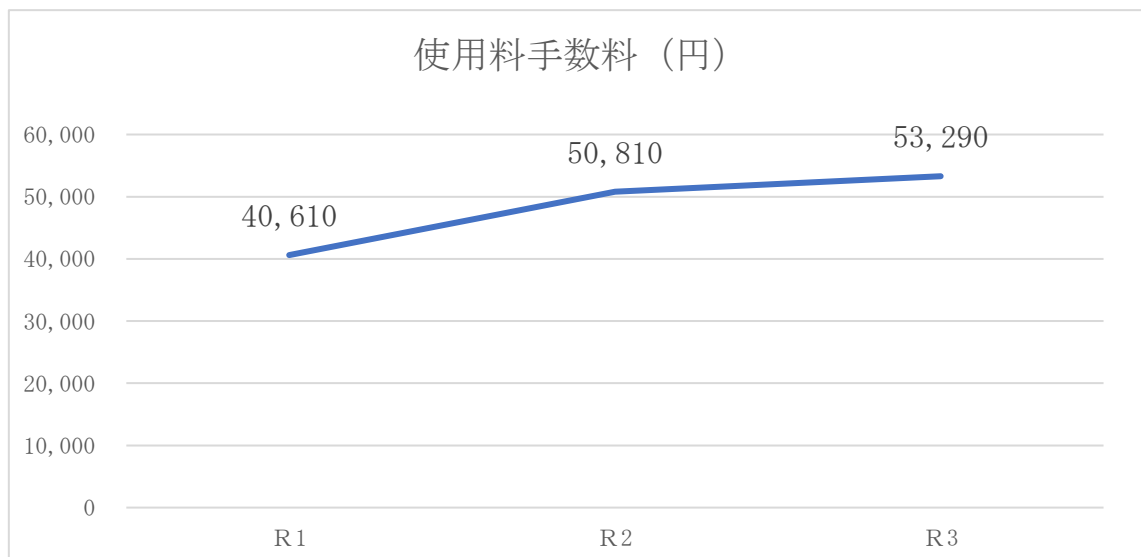
区 分	会場使用		見学入館	
	利用者	使用料	利用者	手数料
令和元年度	301人	8,470円	114人	32,140円
令和2年度	179人	14,180円	113人	36,630円
令和3年度	153人	9,950円	140人	43,340円

○施設利用者数の推移



[実績・成果]

○施設使用料手数料の推移



新型コロナウイルス感染症の影響により、5月12日より6月20日（緊急事態宣言時）、6月21日より7月11日（まん延防止等重点措置時）、7月12日より8月11日（厳重警戒措置時）、8月21日より9月12日（まん延防止等重点措置時）、10月1日より10月17日（愛知県厳重警戒措置時）等の営業時間短縮を行った。

花祭会館の管理運営

担当課係： 教育課生涯学習係

決算書： 141・143

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	2,674	2,546	1,744		380	422
6 項 総合社会教育文化施設費						
4 目 花祭会館費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 4 文化の保存と継承

[概要]

花祭会館の管理・運営を、公益社団法人東栄町シルバー人材センターに指定管理者制度で委託した。

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業】

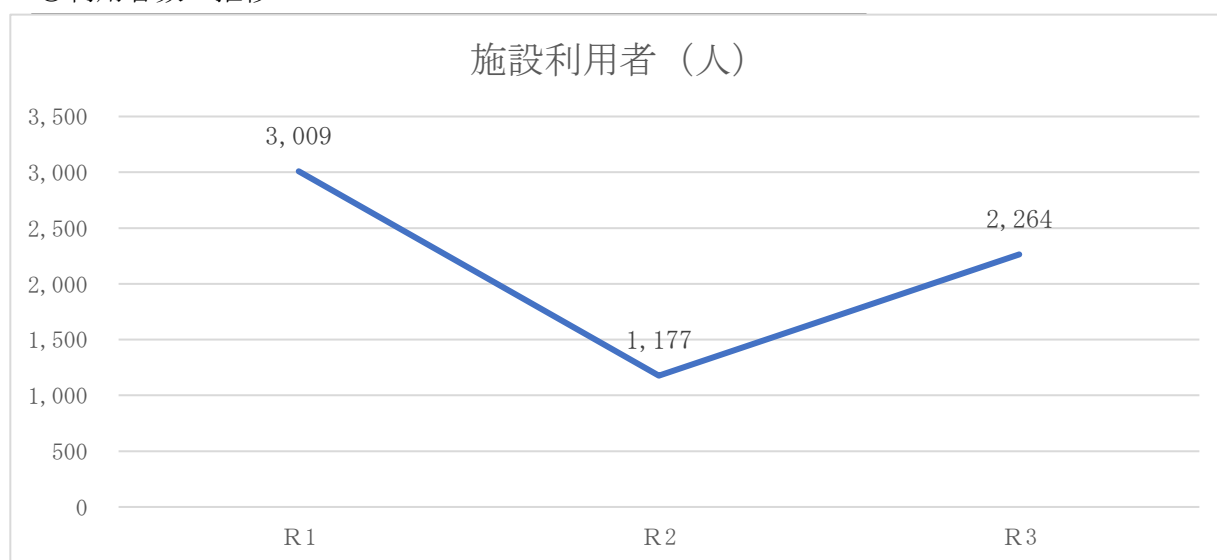
該当事業：公共施設無線LAN環境整備事業（花祭会館のWi-Fi環境を整備）

[実績・成果]

○花祭会館の利用状況の推移

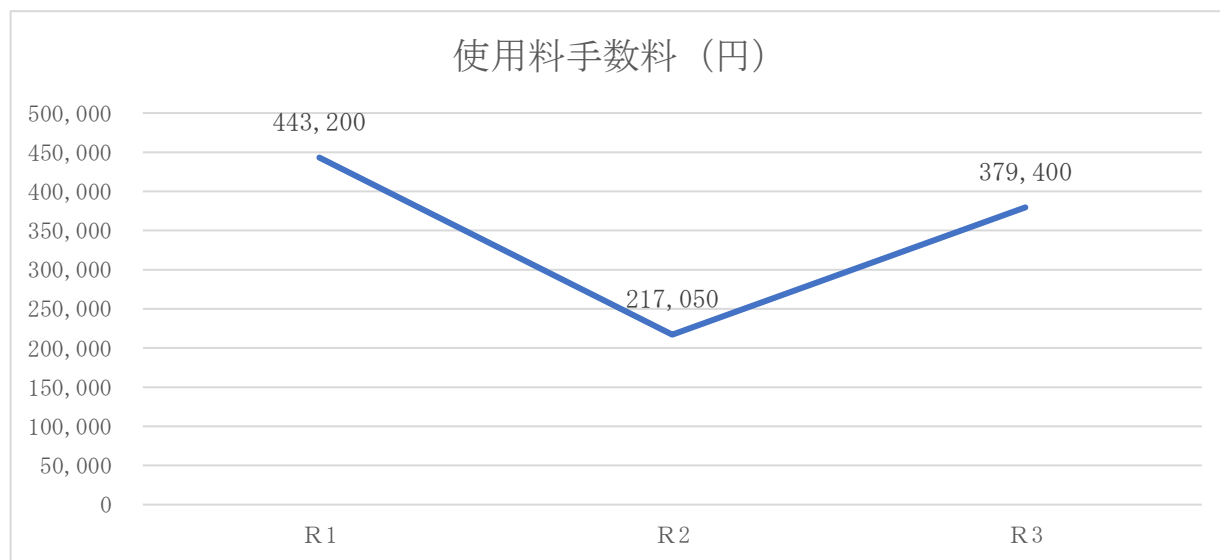
区 分	会場使用		見学入館	
	利用者	使用料	利用者	手数料
令和元年度	2,276人	224,540円	733人	218,660円
令和2年度	706人	81,660円	471人	135,390円
令和3年度	1,327人	113,060円	937人	266,340円

○利用者数の推移



[実績・成果]

○使用料手数料の推移



新型コロナウイルス感染症の影響により、5月12日より6月20日（緊急事態宣言時）、6月21日より7月11日（まん延防止等重点措置時）、7月12日より8月11日（厳重警戒措置時）、8月21日より9月12日（まん延防止等重点措置時）、10月1日より10月17日（愛知県厳重警戒措置時）等の営業時間短縮を行った。

体育施設の管理運営

担当課係： 教育課生涯学習係 決算書： 143

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	2,060	2,059			675	1,384
6 項 総合社会教育文化施設費						
5 目 体育施設費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 3 生涯学習・生涯スポーツ

[概要]

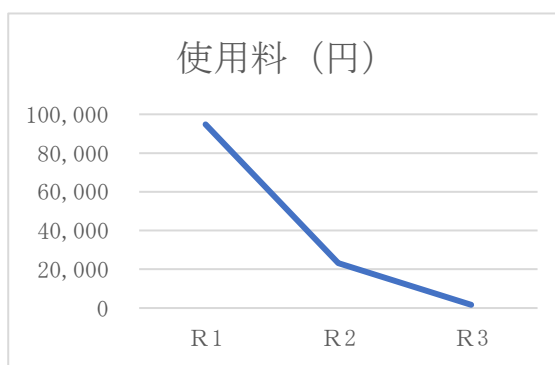
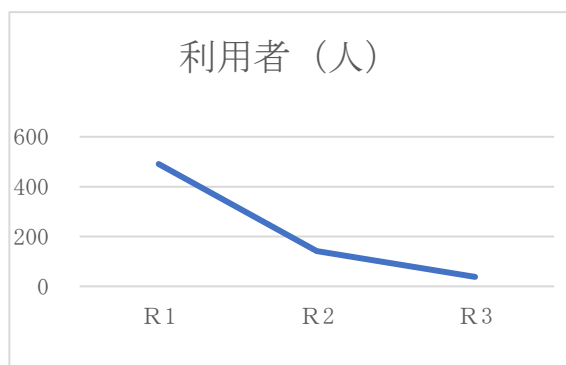
体育施設の管理・運営を、公益社団法人東栄町シルバー人材センターに指定管理者制度で委託した。

[実績・成果]

新型コロナウイルス感染症の影響により、5月12日より6月20日（緊急事態宣言時）、6月21日より7月11日（まん延防止等重点措置時）、7月12日より8月11日（厳重警戒措置時）、8月21日より9月12日（まん延防止等重点措置時）、10月1日より10月17日（愛知県厳重警戒措置時）等の営業時間短縮を行った。

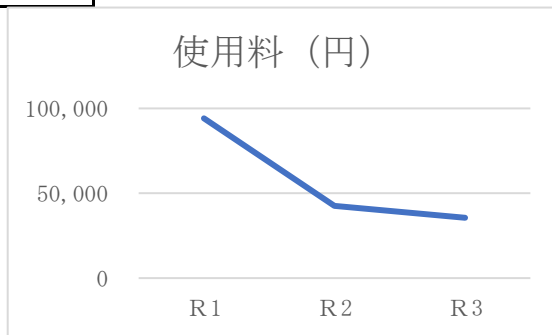
○体育施設の利用状況推移

区 分	テニスコート	
	利用者	使用料
令和元年度	491人	94,800円
令和2年度	141人	23,100円
令和3年度	38人	1,660円

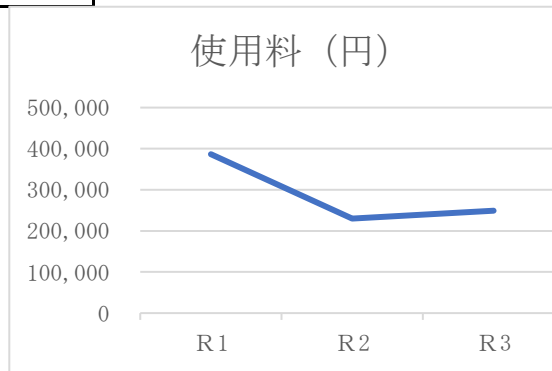
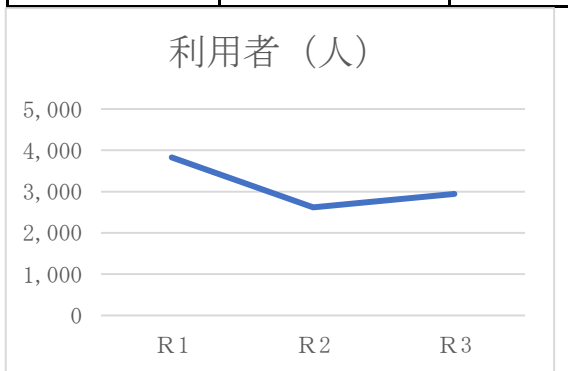


[実績・成果]

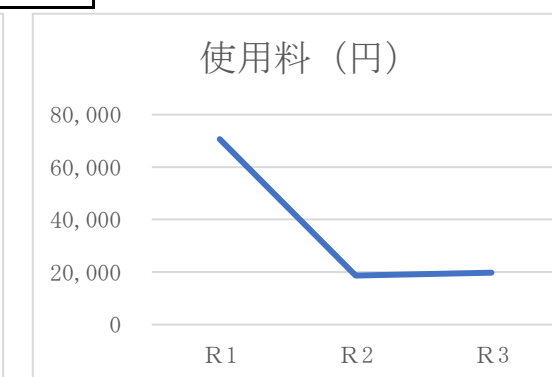
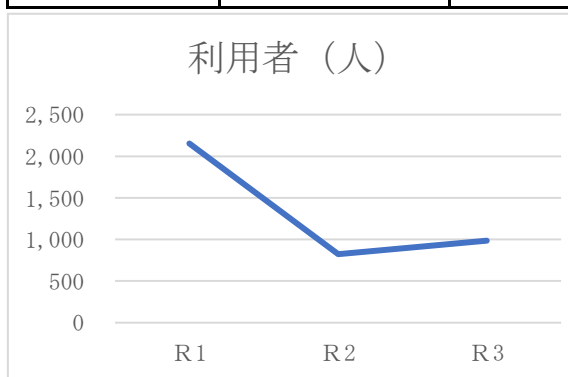
区 分	弓道場	
	利用者	使用料
令和元年度	1,216人	94,150円
令和2年度	327人	42,540円
令和3年度	398人	35,550円



区 分	B & G 体育館	
	利用者	使用料
令和元年度	3,827人	386,550円
令和2年度	2,618人	230,000円
令和3年度	2,946人	249,450円

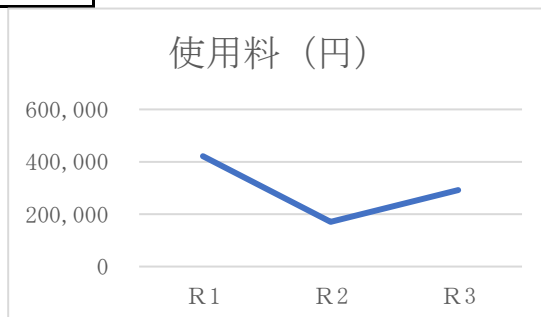


区 分	B & G プール	
	利用者	使用料
令和元年度	2,153人	70,650円
令和2年度	823人	18,670円
令和3年度	985人	19,790円

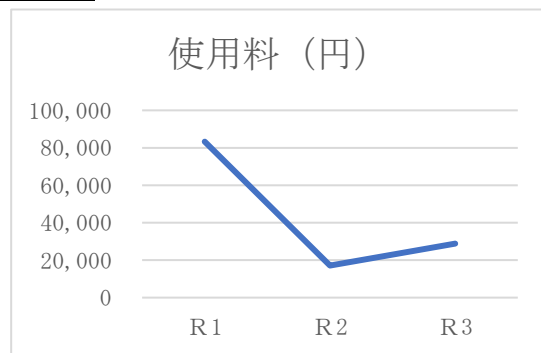
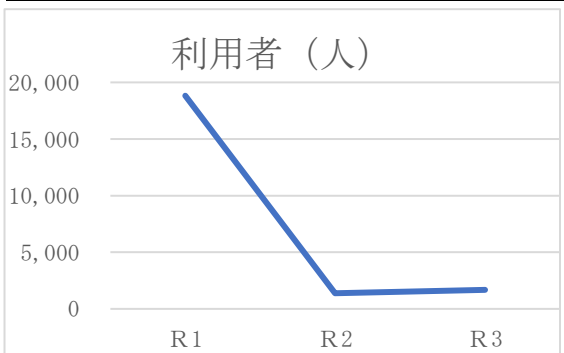


[実績・成果]

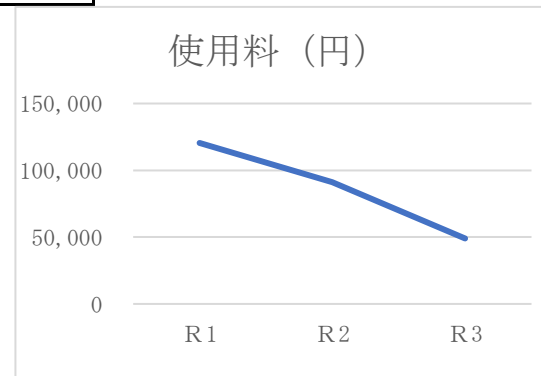
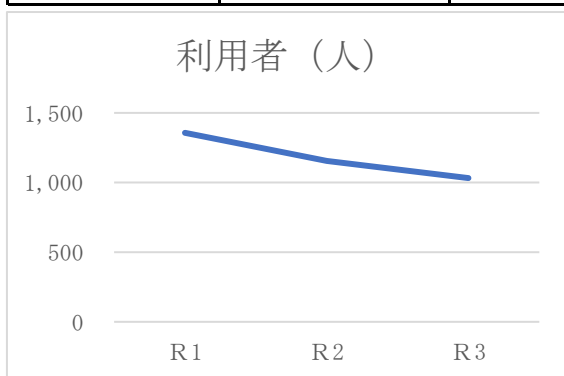
区 分	東栄ドーム	
	利用者	使用料
令和元年度	23,853人	421,340円
令和2年度	2,073人	170,610円
令和3年度	4,083人	291,505円



区 分	陸上競技場	
	利用者	使用料
令和元年度	18,825人	83,290円
令和2年度	1,379人	17,120円
令和3年度	1,672人	28,890円



区 分	野球場	
	利用者	使用料
令和元年度	1,357人	120,475円
令和2年度	1,155人	91,120円
令和3年度	1,032人	48,990円



森林体験交流施設運営事業

担当課係：教育課生涯学習係

決算書：143・145

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	19,117	18,713			2,676	16,037
7 項 森林体験交流施設費						
1 目 森林体験交流施設費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
 基本施策 3 生涯学習・生涯スポーツ

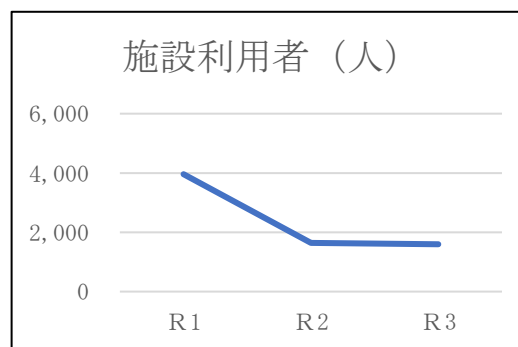
[概要]

森林体験交流センター「スターフォーレスト御園」の運営及び維持管理を行った。

[実績・成果]

○森林体験交流センターの利用状況推移

区分	延べ利用者	うち宿泊者
		令和元年度
令和2年度	1,638人	731人
令和3年度	1,596人	709人



○利用の内訳

区分	使用料		手数料		雑入
	センター	バンガロー	プラネトリウム	観望会	
利用者	令和元年度	608人	1,399人	1,391人	823人
	令和2年度	191人	538人	632人	311人
	令和3年度	231人	481人	571人	424人
収入	令和元年度	1,852,760円	4,209,500円	656,280円	407,369円
	令和2年度	559,040円	1,813,300円	310,410円	65,320円
	令和3年度	683,320円	1,607,280円	303,810円	62,489円

新型コロナウイルス感染症の影響により、5月12日から6月20日まで、8月21日から9月30日まで森林体験交流センターを臨時休館とし、当該期間以外も3密を回避するために宿泊者の受け入れを定員の半分以下とした。